



地久

# 春日大社の 舞楽面



散手

講師 大和文華館 学芸部 一本崇之氏

参加募集



陵王

芸能「舞楽」は宮中を中心に発展し、その奏楽は宮中の役人に加えて、興福寺・東大寺などの寺社楽人が担ってきました。とりわけ南都では、興福寺を拠点に南都楽所が成立し、舞楽継承の中心地となりました。春日大社には、興福寺より移管された平安から江戸時代の65面におよぶ舞楽面が伝わっており、わが国を代表する一大作品群を形成しています。本講話では、中央における舞楽面の展開を概観したうえで、春日大社舞楽面の位置付けと後世への影響についてお話します。

開催日 令和8年4月12日(日)

時間:午後1時 開始

場所:感謝共生の館

会費:1,000円(当日受付にてお納めください)

\*ご参加の方は公共交通機関(バス・電車)をご利用ください。  
お車でお越しの場合は、別途駐車料金が必要です。  
\*当日の状況により、予定内容を変更することがございます。

<当日の予定>

12:30 受付

13:00 講演

14:30 御本社(大宮)

参拝のち解散

◎お申し込みはハガキ・FAX・メール(kyouka@kasugataisha.or.jp)

◎お問い合わせはお電話で

春日大社教化部 632-8212 奈良市春日野町160

TEL:0742-22-7788

FAX:0742-27-2114